



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

カタール：アルジャジーラによる米国のテレビ局買収

(1月4日付現地各紙)

1月4日付現地各紙は、アルジャジーラが米国テレビ局「カレント TV」を買収したと報じている。

1. カレント TV の買収

- (1) 1月2日、アルジャジーラは、ゴア元副大統領が創設したケーブルテレビ・チャンネルの「カレント TV」を買収したと発表した。買収額については未発表であるが、約5億ドル（日本円で約440億円）と見積もられている。ゴア元副大統領（カレント TV 会長）は、買収後も同局の理事メンバーとして残る予定。
- (2) アルジャジーラは声明にて、「今回の買収により、米国の4,000万以上の世帯に米国発信のニュースを報道することができるだろう。」と発表した。
- (3) アフマド・ビン・ジャーシム・アール・サーニー・アルジャジーラ総局長は、「カレント TV」を買収したことにより、アルジャジーラは米国進出のための重要な足がかりを作ることができた。」と述べた。また、アルジャジーラ関係者は「今回の買収の背景には、米国内の視聴者からの強い要請があった。アルジャジーラ・イングリッシュのインターネット配信ニュース閲覧者の4割が米国在住であった。」と述べた。

2. アルジャジーラ・アメリカ

- (1) アルジャジーラは米国内では一部の都市でしか放映されていなかったが、今回の買収による新たなアルジャジーラ・チャンネルは、従来のアルジャジーラ・イングリッシュとは独立したチャンネルとして米国の国内ニュースと国際ニュースを配信していく予定とされる。ニューヨーク・タイムズ紙によれば、新チャンネルの名前は「アルジャジーラ・アメリカ」が想定されている。
- (2) 新チャンネルは2013年中に放映開始となる。本社はニューヨークに位置し、そのほかワシントン、ロサンゼルス、マイアミ、シカゴ等に支社を設立し、従業員数は現時米国で雇用されている従業員数の倍以上の300人以上になる予定。

3. 米国内ユダヤロビーの動き

- (1) アルジャジーラによる今回の買収については、今後、アルジャジーラが CNN 等の有力

チャンネルとの競争に本格参戦することになると分析される一方、カレント TV は視聴率低迷に悩んでおり、今回の買収直後にはタイム・ワーナー社が配信打ち切りを決定したところ、アルジャジーラの米国での活動は必ずしも順風満帆ではないとの見方もある。

(2) タイム・ワーナー社は、カレント TV との契約を終了させた理由として、カレント TV は視聴者数が少なく十分な格付けを得ていないこと、元々の契約条項に「所有権に変更があった場合」に伴う措置が規定されていることを理由としている。しかし、タイム・ワーナー社はルパート・マードック氏をはじめとするユダヤ系有力者が影響力を持っており、米国内のユダヤロビーがアルジャジーラの米国進出を牽制するために、タイム・ワーナー社に働きかけたとする分析もある。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799